

行財政改革推進特別委員会の報告

3月定例会の初日に、議会閉会中の12月16日、1月20日、2月23日に行われた「行財政改革推進特別委員会」の審査並びに協議の結果が報告された。委員長報告から抜粋して掲載する。

住宅新築資金等 貸付金の 滞納整理

提訴中の事案につき、和解・判決いずれの判断をするかの説明を受け質疑を行ったあと、判決を仰ぐ方向で一致し、その方向で臨んだが、遅延損害金を一定支払う方向で裁判官から再度、和解の提示が示された。

委員会の総意としては、和解決項を整備し、確実に履行される方向で、また履行されない場合の一項も入れ和解決案を受け入れるべきとの結論に至った。地裁にて民事調停法十七条により「調停に代わる決定」が行われ、決定金額が納付された。

市税等の 滞納整理

徴収実績が前年より

悪化しているのは国保税、介護保険料、保育料であった。原課と収納管理課の連携状況の説明を受け、現年滞納を減少させるため原課で電話の催促、口座振替の事務等は、収納管理課業務とした。市営住宅使用料については、この間の取り組みとして四十一件の催告書等を送付、明け渡し請求での提訴や、債務放棄を予定している件などについて報告があった。

財政課においては、収納管理課との連携により効果が出てきている。国保税は、無申告者には申告指導、介護保険については制度不理解があるので、説明に同行している。

後期高齢者医療保険料の普通徴収率は七十七・三％。四千五百名が後期高齢者医療に移行し、国保加入者が一人を切った。収納率が九十三％を下回ると

国からの交付金が約二千五百万円減少する点について意見が交わされた。滞納者への接触状況、資格証発行に至る経過などについて質疑された。

保育料は、現在三十一世帯が滞納している。収入が不安定な若い世帯が多く、滞納世帯のほとんどに、市税の滞納も見られる。家庭の状況などについて聞き取りを行い、納期ごとに電話で実情の把握に努め、分納誓約、減免申請を勧めるなどしている。

行政組織 機構の再編

「香美市行政組織機構にかかる今後の方向と行程について」が示され質疑を行った。

現在の支所の状況、二十一年度よりの支所の一課体制について、本庁と一体的に考えるべきといった意見や支所機能について、また地域審議会での意見聴取などについて意見が交わされた。執行部としては支障がなければ大きく変更することはないとのこと。



まちづくり推進 特別委員会の報告

三月定例会の初日に、議会閉会中の一月十六日、二月十七日に行われた「まちづくり推進特別委員会」の審査並びに協議の結果が委員長より報告された。委員長報告から抜粋して掲載する。

各項目の取りまとめ案を協議したが、協議内容の主なものとして工科大学との連携、人口定住策、新パッケージ事業などについて意見が出された。人口定住策では、香美市内に住宅を新築する方への固定資産税の減免など、検討課題となるのでは。

新パッケージ事業について、執行部からの説明を受け、質疑を行った。一月十四日に労働省から説明に來られ、新パッケージ事業をどう作っていくか、事務局レベルの協議がされた。今年からは施設整備も可能となったので、「日本一のユズ」の称号を生かした製品の創設につなげては、との提案があった。ユズ加工施設建設事業については、当委員会としても積極的に協議を進めていく。

シカの捕獲後の利用は兵庫県丹波市を例に肉、皮、ペットフード、有機肥料などの事業化の提案、その他、伝統工芸フライフの共同事業化、スギ製品の加工など、市の企画課、商工観光課、農政課、林政課、J A、商工会、工科大学などで有識者チームを作り協議、検討していく提案がされた。

教育厚生常任委員会の調査報告

議会閉会中の二月十日、十二日に行われた学童クラブの視察調査について、教育厚生常任委員会より報告された。委員長報告から抜粋して掲載する。

学童クラブの運営が本年より指定管理者制度に移行したことに伴い、市内八箇所の学童クラブの声を聞くため二月十日、十二日の両日視察調査を実施した。

指定管理者制度への移行に関し、制度と経緯について教育委員会は説明不足であった。そのため、今後の運営に不安を抱えている。学童クラブは指定管理者制度に適さないものがある。児童の健全育成と放課後の安全に尽力されている学童クラブに対し、今後の関わりは大変重要である。

本常任委員会では次の事項を執行部に対して申し入れすべきとの結論に至った。

- ① 児童数に適したトイレの設置
- ② 宝町集会所の非常階段の改修
- ③ 屋外で遊べない施設の改善
- ④ 遊具の安全性の確保
- ⑤ 専用施設

一、指定管理者制度の説明と経緯の十分な理解のために尽力すること。

一、施設面の次の課題に対し、誠意をもって対処すること。

⑥ 体調の悪い子の休息するスペースの確保等のほか、児童数の少ないクラブへの市独自の補助について、また、傷害保険、賠償責任保険加入への適切な指導以上の申し入れを文書で行った。

でないための不具合



もんべえ学童クラブ